

土づくりの標準的施用手順

○土づくり施用法 10a 当り (土づくりは作付け1ヶ月以上前より開始)

- ・ 堆肥等、米ぬか、スーパー源肥、ミネラルこんぶ、土づくりの元を散布
↓
- ・ トーマスクンを均等にまける量の水で希釈(約 100~200ℓ)し散布
↓
- ・ トラクターで耕起し、土壌水分 50~60%位まで散水(水だけ)しビニール被覆。
↓ (施設栽培ならハウスを密閉し太陽熱と併用処理)
- ・ 定植 10~14 日前に元肥(ぼかし肥料、配合肥料等)を投入し耕起し畝上げ。
↓
- ・ 定植。定植後すぐにトーマスクンと宝水 2ℓずつを希釈し葉面散布か灌水で投入。
↓
- ・ 下の収穫期間中の施用法の通り 30 日を目安にトーマスクンと宝水を 1~3ℓずつ灌水。

○収穫期間中の施用法

- 30 日間隔を目安でトーマスクンと宝水を 1~3ℓ/10a ずつを希釈して灌水及び葉面散布。
(目的: 土中の微生物バランスの整え、対菌予防効果、光合成促進など)
- 応用的利用・灌水にて 1ℓ/30 日間隔+0.5ℓ/15 日間隔葉面散布(1000 倍液程度)